

2013. 5【vol.35】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|--|----|
| 1. 藤田関西支社長 新任のご挨拶 | 1p |
| 2. 関西支社管内の気象と水源状況 | 2p |
| 3. 総合技術センターの紹介 | 3p |
| 4. 機構からの出向者紹介 | 4p |
| 5. 水源地マラソン紀行（その1 1） | 5p |
| 6. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』のご紹介 | 6p |
| 7. 機構の施設見学会のお知らせ | 6p |

編集後記



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

1. 藤田支社長 挨拶

新任のご挨拶

私こと、このたび4月1日付けをもちまして関西支社長を拝命いたしました。

利水ユーザーならびに関係機関の皆様には、日頃より独立行政法人水資源機構の業務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

もとより微力ではありますが、引き続き、琵琶湖開発施設、高山ダム、日吉ダム等の11施設の管理・運用とダム建設2事業の的確な事業執行を通して、琵琶湖・淀川流域での用水の安定的な供給と治水対策に日々努めてまいります。私事ではありますが、関西での勤務は初めてとなります。これを機会に歴史ある淀川の水文化に触れるとともに、他水系で培った経験を日常の業務運営に活かしていきたいと考えております。

今後とも水資源機構に多方面からのご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。新任のご挨拶とさせていただきます。

独立行政法人 水資源機構

関西支社 支社長 藤田 乾一

2. 関西支社管内の気象と水源状況

4月の気象状況は、気象庁の発表によると、西日本では、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気が数日の周期で変化したため降水量も平年並みとなりました。

関西支社管内の水源における月間の降水量は、一庫ダムを除き、ほぼ平年並若しくはこれを上回り、各水源（各ダム）の流況は安定した状況でした。

関西支社管内における各水源（各ダム）の貯水率は、洪水貯留準備水位へ向けて貯水率を下げていることから、低下しています。

～ 水資源機構(関西支社管内)の水源状況 ～

平成25年5月13日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	126.04	2,897	58.9	116	112
青蓮寺ダム	274.78	1,711	89.5	106	107
室生ダム	295.07	1,289	96.9	115	106
布目ダム	282.54	1,149	90.4	96	98
比奈知ダム	296.74	1,235	80.7	120	88
一庫ダム	142.15	1,935	72.2	70	101
日吉ダム	187.17	2,875	79.9	115	90
琵琶湖	B.S.L. -4cm	—	—	124.0	113.0
7ダム 合計	—	13,091	74.3%	—	—

※1 琵琶湖水位は、5月13日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しています。

※3 降水量については、4月1日～4月30日までの累計値で、

琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

水資源機構の関西支社管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(関西支社 施設管理課)

3. 総合技術センターの紹介

このコーナーでは、水資源機構の「総合技術センター」を数回に分けてご紹介します。

◆◇総合技術センターとは◇◆

【設置目的】

水資源機構では、その前身である水資源開発公団時代から「水の恵みを活かした心豊かな潤いのある国民生活を支えること」を使命として、約 50 年にわたり、我が国の人口の約半数の方々の生活に関わる7つの水系で水資源の開発、管理を実施してきました。

平成 15 年 10 月に水資源機構となってからは、総合力に優れた「水のプロ集団」としての自負をもって役職員が一体となって、水資源の供給・管理という公共公益的使命を、より効率的な業務運営を目指しながら遂行しています。

総合技術センターは、水資源機構が長年培った「技術」と「経験」を活かし、国内外の水に関わる課題の解決に貢献するため、国および地方自治体等に技術支援を行うことにより、社会貢献を推進することなどを目的として、平成 17 年 4 月に水資源機構本社内(現在は本社組織と分離)に設置されました。

技術支援などを通して得られた知見は、水資源機構の技術力の維持・向上に還元し、効率的な業務運営に寄与しています。

【組織体制】

総合技術センターの組織は、6つのグループに分かれて業務を実施しています。

- マネージメントグループ ○ ダムグループ ○ ダム等施工支援グループ
- 水路グループ ○ 試験・解析グループ ○ 国際グループ

【技術支援メニュー】

- 計画：水資源に係る基本計画調査、ダム再開発の検討
- 調査：ダムサイト、原石山、地すべり等の地質調査計画立案、結果の評価、環境調査計画の立案、結果の評価、長大水路の調査計画の立案
- 設計：ダム堤体、洪水吐き、取水設備、仮設備等の設計、ダム工事における基礎処理工法の検討、水路システムの計画設計、環境に配慮した計画設計
- 試験：三軸圧縮試験機等を用いた土質試験、大型 VC 試験機等を用いたコンクリート試験、フィルダム材料試験、水理模型実験、鉄線籠の品質試験
- 解析：ダム安定解析、温度応力解析、ダム操作シミュレーション、水理解析
- 耐震：ダムにおける耐震設計・照査、管理施設における耐震性照査
- 施工計画：ダム・水路・トンネル等の施工計画検討
- 積算：工事価格の算出、照査
- 審査・評価：総合評価落札方式契約への技術支援
- 施工監理：ダム本体工事の施工監理 など

総合技術センター ホームページ → <http://www.water.go.jp/kanto/sougicenter/>

(総合技術センター)

4. 機構からの出向者紹介

今回は、大阪広域水道企業団村野浄水場（大阪府枚方市）の浄水管理室浄水調整課で働く、『小林大輔』さんを紹介します。

小林さんは、平成5年に水資源開発公団に入社し、「中津川管理所」「日吉ダム建設所」、「豊川用水新城支所」…「一庫ダム管理所」に勤務され、主にゲートやポンプなどの機械設備の設計や施工、維持管理などを担当してきました。

平成24年4月に現在の村野浄水場へ出向され、企画業務や浄水運用調整のほか電力管理対応などを主に担当されています。

ご自宅は兵庫県川西市にあり、村野浄水場まで片道約2時間をかけて通勤しているそうです。

また、職場では、ベテランとってしまうほど、浄水場での仕事が板に付いていました。（≒順応されておりました。）また、小林さんの人柄でしょうか（？）企業団の皆様からも親切にいただいている様子が見えました。（流石ですね。）

昨年10月には、水資源機構の職員6名が村野浄水場で水道業務体験研修を受講させていただきましたが、その際も現場での説明をしていただき、また、研修生からの質問にも分かり易く対応され、理解が深まった研修でした。

近況は、年度末ということもあり、工事の検査や年報整理、業務の発注調整に忙しい日々を送られているそうです。



村野浄水場の概要を説明する小林さん（中央）

しかしながら、忙しい日々にも関わらず、仕事から帰宅すると、撮り置きしているTVドラマを楽しむ日々…。

このため平均睡眠時間は3～4時間とのこと。（この人はちゃんと睡眠を取っているのしょ～か…？『寝だめ』でもしているのか…。）

また、企業団の方々と親睦を深めるための機会も多いことから、仕事帰りや休日、平日に休暇を取ってまでも親睦を深めているという話も聞いています。

仕事が好きなのか？人が好きなのか？ただ楽しんでいるだけなのか？本当に人付き合いの良い魅力のある方です。

今後も、大阪府の各市町村へ「くらしの水」を配水し続け、安全でおいしい水を各家庭に届けるため、頑張ってくださいと思います。



（関西支社 利水者サービス課）

水レター「びわ湖・よど川」では、次号からも出向者の紹介を連載して参ります。

5. 水源地マラソン紀行 (その11)

春もたけなわです。

新緑も美しく、風も爽やかで走っていると何だか嬉しくなってきます。

4月は、淀川の水源地マラソンの中でも最も過酷と言われている「日吉ダムマラソン大会」に出場しました。

ちなみに、淀川の水源地マラソンのうち過酷さでベスト3は、①「日吉ダムマラソン大会」、②「月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会（高山ダム）」、③「川西一庫ダム周遊マラソン大会」、番外として「名張青蓮寺湖駅伝競争大会」となりますが、この中でも断トツで過酷な大会です。

日吉ダムマラソン大会のコースは、日吉ダムより小高いところに位置する府民の森をスタート地点として、アップダウンのある天若湖を周り、日吉ダムの上を走った後、再び、スタート地点の府民の森に戻るコースなので、他のダムの周辺を走るマラソン大会と比べてもコースの高低差がきついに思われます。また、コース終盤のゴール地点までの約1kmの坂は、見ただけで気持ちが萎えてしまうほどの急な上り坂で、約20kmのコースを走ってきたランナーにとっては壁のように立ちはだかり、ほとんどのランナーがここで力尽きます。

昨年は、強風でミゾレも混じる悪天候の中で走り、ゴール後に足が痺るという辛い大会でしたが、今年は、幸いにも天候には恵まれました。

昨年は、水機構からは私のみの参加でしたが、今年は私のほかに琵琶湖開発総合管理所からK君と地元の日吉ダムからはY君の3名が出場しました。

いよいよスタートです。

スタート直後から最終の上り坂に余力を残そうと、前半は抑え気味に走り、昨年よりも良いペースかと思っていましたが、やはりゴール手前の上り坂が立ちはだかり力が尽きてしまいました。

大会の結果は、昨年より約1分遅いタイムでゴールしました。苦しい中ではありましたが、無事にゴールができ、天若湖の穏やかで美しい景色と日吉ダム上を走ることは格別でした。

日吉ダムは京都から近いこともありますが、京都縦貫自動車道が平成25年4月21日に大山崎ジャンクション（名神高速道路）まで開通しましたので、更に、車でのアクセスも便利となりました。

また、日吉ダムの下流にある「道の駅 スプリングスひよし」では、「ひよし温泉」があり「ダムカレー」も食べれるという事で大変好評です。

是非、来年は皆様も「日吉ダムマラソン大会」に参加されてみてはいかがでしょうか。

次号は、「奥びわ湖健康マラソン」の模様をお伝えする予定です。 **(ダムを走る男)**



見事に完走を果たした3名



日吉ダムを颯爽と走るランナー

6. 『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ (関西いろはカルタ)』のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しくする”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に倣い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得られ、より効率的な業務運営ができる組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ（関西いろはカルタ）』を紹介いたします。



※ 「しろまる (460)」とは、機構職員の日あたりの勤務時間である7時間40分を「分」(460分)で表したものです。

次回は、『も』、『せ』、『す』、『ん』です。

7. 機構の施設見学会のお知らせ

来る、平成25年6月5日(水)、6日(木)の二日間、利水者の担当者様や府県の担当者様を対象として、青蓮寺ダム(三重県名張市)と室生ダム(奈良県宇陀市)の見学会を実施します。

見学会では、普段では立ち入ることができないダムの内部や機械設備などを間近にご覧いただくことができます。

是非とも、この機会に皆様方の参加をお待ちしております。



【青蓮寺ダム】



【室生ダム】

(関西支社 利水者サービス課)

編集後記

私が大阪に移り住んで早くも一年が経ちました。

今回は、私が頻りに利用するJR京橋駅での出来事をご紹介します。

昨年6月に実施した、利水者の皆様方を対象とした施設見学会の朝の出来事です。

私は、事前にヤフーの路線情報で調べたとおり、JR京橋駅から「片町線」を利用して待ち合わせ場所の木津駅へ向かう予定でした。ところが、市営地下鉄の京橋駅を降り、JR京橋駅の北口の改札を抜けて、「大阪環状線」のホームを通り、「片町線」に向かおうとしたところ…。「東西線」？、「学研都市線」？、えっ「片町線」は？

JR京橋駅にこれほどの路線があったとは知らず一瞬で頭がパニックに…。

暫く途方に暮れていましたが、乗車予定の電車の発車時刻が迫ったため、駅員に木津駅行きのホームを尋ねたところ、「2番ホームの「学研都市線」からの発車です。」と呆れたように言われました。しかし、集合時間に遅れるわけにはいかないため、駅員に食い下がり「えっ。「学研都市線」？あの～、私は「片町線」に乗りたいのですが…。」と再度聞き返したところ、「あっ。木津駅行きの快速は今出てしまいましたね～。」と。

「「片町線」を探しているのに「学研都市線」って何？、それってどこに行くの？

「片町線」はどこにある？廃線になった？もしかして駅員に適当にあしらわれた?!」と頭の中をぐるぐると。

結局、駅員が何を言っているのか理解が出来ずに「大阪環状線」の奈良行き快速電車で木津駅へ向かい、集合時間にも無事に間に合いましたが…。

当然ですが、帰りの電車も朝と同じ経路で帰りましたが、納得のいかない私はこの出来事を後日になって同僚に話したところ、JR京橋駅から木津駅までの区間のことを「片町線」別名「学研都市線」と言い、「東西線」はJR京橋駅からJR尼崎駅までの区間のことであると教えていただきました。

ヤフーの路線情報には「片町線」と書いてあったのに…。

(五代目 百式)



龍門の滝(大分県)

Japan Water Agency



独立行政法人
水資源機構

水資源機構ツイッター

http://twitter.com/jwa_PR

水資源機構関西支社

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai>

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp